

葦 森 の 風

第3回協同学習公開研究会 1年B組 藤井永之先生 国語科授業

立春を過ぎてもまだまだ寒い日が続いていますが、春はもうそこまで来ているはずですよ。さて、2月19日(火)は、足守中学校の今年度の第3回協同学習公開研究授業が行われました。

2、3、4校時には全クラスでの公開授業でした。9教科それぞれの授業の中で、学習のねらいをしっかりと意識して、生徒のみなさんが、受け身にならず、主体的に課題に取り組んでいたと思います。5校時は、1年B組だけが残って全体提案授業を公開してくれました。藤井永之先生の国語の授業でした。題材は「少年の日の思い出」という、ドイツのノーベル賞作家ヘルマン・ヘッセの小説でした。後で聞いたのですが、この小説は、特別な作品のようです。日本で初めて中学校国語の教科書に採用されたのが昭和23年だそうです。以来60年間以上、ずっとどこかの教科書に掲載されているというとても素晴らしい作品だそうです。特に今年度は、全国で採用されている全ての中学校国語の教科書にこの「少年の日の思い出」という作品が掲載されているということでした。みんな

のご両親やお祖父さん、お祖母さんも同じ小説で中学校の時に勉強をした経験をもっておられる方が多いそうです。(残念ながら私は覚えていませんでした。)



◎しっかりと友達のことを聞き、分からないところは質問し、自分の考えもはっきりと発表できていたと、講師の先生から評価していただきました。また、この日のために、長崎県から協同学習を視察にお二人の先生がお見えでした。ありがたいことだと思います。みなさん、よく頑張りましたね。